제825호 1911. 11. 22.

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年　紀元二千五百七十一年
定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
廣告 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲特別廣告五號活字十字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
發行兼編輯人 高木久一郎
印刷人 松久靜一郎
京城西小門通
發行所 京城新報社
電話六六三番 振替口座京城四五六番
仁川宮町三丁目 電話二一一番 仁川支局
東京市京橋區南佐柄木町七番地 東京支局

京城新報

喜賓會を設けよ
外客優遇及び誘引の機關

一度び足を朝鮮半島に踏入れしか、母國の山河秀麗なるに比して、目に觸るゝもの悉く荒涼寂寞ならざるなきは吾人の常に耳新らしく言ふ所もなき事なるが、此荒涼寂寞なる半島と雖も、我朝鮮に文物を移入せし往昔の史實に徴すれば文華燦然たりし時代のありしことを疑ふべくもあらず。況んや其當時の古蹟各所に散在せるを觀ては、何人も往昔の盛古を偲ぶと共に、是等古跡の圖影を殘せる半島を懐任の歴史を見ての方面より研究することも未だ開の業ならざるに想到せざるはなし、外人の如き夙に茲に着眼し、半島の歴史及び地文地理或は文化の變遷又は宗教上に關する著書を世に公けにしそれもの甚だ鮮少ならず、うの點の必ずしも反つて我邦人をして彼へ比喩たらしむるものあり。特に古く我文物の移入元たりし半島が永き年月の間に[illegible]資格を顚倒して終に我の支配下に屈するに至りし原因等は外人間に極めて趣味ある問題として研究せられつゝあるは近時外人學者の講演或は論説等に徴しても之を知るに足る可し。況んや我國の半島統治は最も外國政治家實業家の視線を惹きつゝあるに於てをや。

從來、外人の半島に遊ぶもの其目的や決して空漠無意味のものにあらず、彼等の來鮮は、上述の如く眞面目に半島の過去現在を研究し温故知新の資を得むとするにあらずんば、半島の產業狀態を知悉せんと欲する者或は宗教上の觀察を遂げむとするにあらざるはなし、然るに之等觀光視察の外客に對して何等便宜を與ふるの機關なきを憾みとし吾人は二年前東京に於ける喜賓會の如きものを設くることの必要を唱道せしが、時機未だ熟せず之が實現を見るに至らざりしが、今や半島は我統治の下に漸やく生氣を帶び來り、加ふるに朝鮮滿洲兩鐵道の連絡は一躍半島を世界の公道たらしめ、大平洋より大西洋に向ふ外客、或は歐洲より日本觀光の外客は皆此公道を過らむとするに至れり交通の便今日の如からざりし際に於てすら外客の來遊を絶たざる半島の今後は益々外客の増加を見る可きは蓋し必然の道理なるにも關はらず。尙觀光視察の外客に對し優遇接待の誠意を表し彼をして些の不便を感ぜしめざる機關を備へざるは實に半島開發上の一大缺點として、吾人は二年前の主張を實行すべき機の熟せるを感ぜずんばあらず。尤も是迄著名なる外客の來るや、統監府時代より今日に至るまで其筋にて優遇の道に努めたるも、將來外客の來鮮頻繁にして其數の倍々多きを加ふるに從ひ其筋の手にのみ接待を委ることは到底不可能なるのみならず、手の屆かざるがため或者は優遇し、或者には之を爲さゞるが如きことの生ぜんか、外客に面白からざる感情を起さしむるなきを保せざるなり、[illegible]吾人は此際官民の主なる人[illegible]及び外人の有力者が一團となり[illegible]喜賓會を組織し來遊外客のため[illegible]なる嚮導者となり、綿密なる説明者となり、以て出來る限りの便宜を與へ、時に彼外客に[illegible]政治に[illegible]歷史風俗文學美術等に關し智識の交換をなす等のことあらば、外客の腦裡に好印象を刻せしめ兼て國交上に與ふる稗益の少なからざるを信じ、敢て識者に提議す。

外事一束

▲列國の通牒に對し伊太利多島海に於て何等の戰鬪的行動を不成と宣明す

▲獨議會委員會滿場一致を以てカメルーン州内の一地區を佛に讓與に決す

▲西班牙より西領ギニア讓與の商議をうくとの說萬德里に於て否認さる

▲獨逸外相同國議會委員會に通告して曰く獨逸にして若しも印度ギニアを發行せんと欲せば佛國は同方面に於ける其特權を全く放棄せざる不可云々

▲維納來電に曰佛國英に佛領印度の一部を割讓し代償としてカリカルを受

▲米陸軍鄕米國運輸業者巴奈馬運河使用に關し特權擴張を主張し今回噸稅率及

▲英領率を國會に提出す然雖英國との條約あり同案實行は頗る疑問に屬す

▲土帝埃及王と共に英帝印度行を歡迎すべくポートサイドに臭艦を差遣す

▲露國波斯が最後の通牒を容れざらば

文苑

▲還羅 皇帝の戴冠式に際し獨帝黑鷲勳章を同帝に御贈與相成るべしと傳ふ

●折にふれて　松翠生

○風寒き大野の末に高麗少女乳房あらはに秋大根ひく

○あたゝかき小春日和を椽に出でゝ老ひたる母の糸車くる

○からからと風に吹かるゝ落葉みて小雨たはむる秋晴の庭

○高き枝に一つのこりし柿の實を鳥ついばむさびし秋の日

○秋の夜を歌に更かして歸り路の溝の露にたもとぬらしぬ

俳句

▲仁川俳諧卯月會席上即吟　會同人投
題 小春、榾、毛布（各一句吐）

●四點之部
久し振り鳩の杖曳く小春かな　竹亭
老のする日南ボツコも小春哉　渓水
榾焚くや夜更けも知ぬ高咄し　花卯

●五點之部
賤が家の榾遠振りや破れ毛布　松園
落ちし葉の垣根に乾く小春哉　巴城
榾明り浅れて氣丈や一人旅　淇濱
忠を包む羅紗や夢の赤毛布　一竹
目の覺て又引被ぶ毛布哉　竹賀
榾焚て世を忍ぶ怪美人あり　皖月
小春日や障子に移る蝶の影　一骨
借り毛布被りて戻る夜更哉　同
草庵や軍營縮く榾の傍　諸南
榾らよろ〱濁酒の勝利暖ぬ　一骨
城輌ヶ過色の褪たる布毛哉　醉仙
慢遊の歸途毛布の汚れ眠豆哉　哲舟

官製煙草 大和

梁川庄八（やながはしやうはち）
小金井蘆洲演

第四十回

「孝行は富士の高峯に能く似たり、見上げられたり人に賞められ」と云歌がありますが、人は孝道を守らなければなりません、彼の人は左して學問も出來ないし且つ發明と云程ではない容子だが、何うして樂に暮して居るのだろうと尋ねたら、彼の人には人の眞似の出來ない親孝行と云事があるからだ、と答へたと云話がありますから、親に孝ならざる人は世に立つと云事は六ッケ敷、孝は百行の基、庄八は母親に向ひ 庄「イヤ其方の躾の宜い爲であろうが倅孝太郎は世にも珍らしき孝行者だそ申ので、郷黨挙つて賞めぬ者はない……乃公は遠い他國の者であるが、忠孝は國の礎とやら、殊に眼に一丁字もなき孝太郎が至孝、此に到ると云ふ口是れ誠に尊い事である、乃公は不幸にして年幼にして親に別れ、今は兩親とも冥土の人、夫故別して羨しく思はれる……、就て今日難儀にならぬ樣取計つたなれど、乃公は長く此國へ止まつては居られぬ身分であるから、明日にも出發を致した跡で、代官から又如何なる無理難題を云掛けんとも計られんから心得、其後患のなき爲に代官から詫證一本を取て參つた、此證文の文句は今日其方へ對して成したる事は、誠に心得違ひ役目の落度であつた、後來孝太郎に對し遺恨は含まんと云ふ文意だ、名宛は此方の名になつて居るが、其方に渡して置くから取てれけ……」孝太郎は嬉し涙に 孝「誠に有難う存じました、其事に就て只今母も心配致して、此後は何う云事になるやら困つたものだと、申して居りましたが、私も何とも云解く術もございませんから、實は思案に暮れて居ります所へ、此證文を下されまして、重ね〱の御計ひ有難い仕合に存じます 庄「ア、然うであつたか、併し此證文を其方が何時までも持て居ては、却つて災を招くやふなものだから、四五日過つたらば名主と一緒に陣屋へ罷出て、代官に返してやれ、然うすると代官も自己の恥となる證文の事故、其方の厚意に對し些ばかりの遺恨が有たとしても、宿意を晴らして、或は其方の孝道忠實を賞美するかも知れん、雖ゝ操木の當りやふと云事があるから、仇に報ゆるに忠實を以てすれば、代官とても左まで非道な人でもあるまいから、定めて先非を悔悟致すであろう、然すれば其方の身の上も、ます〱無事安穩になる譯だろう 夫から此金子五十兩は其方に遣す 孝「危い場合をお助けを頂きました上なす、斯樣な大金を頂きましては 庄「イヤ遠慮致すな、此金子は乃公が懐中から來ぬと云譯ではないのだ、彼の代官樣本其太夫と云奴、目も鼻も明かぬ男で其方が多年の孝道に對し、褒美を取らすることも知らぬ、依て乃公が浪々中路用必迫の際を以て、旅費に致すと申して代官から申受けて參つた金子、其金を其方へ遣すのだから心配致すな、此金で母に暖かい衣類を着せ、口に合つた者でも喰はして喜はせて遣せ、孝行に必付く時親はなし、と申事があるから、何でも有る内ちや親養を勵め、アヽ收めて置け 孝「誠に思召は有難う存じますが、村方の衆の御贔負を蒙り、世間の人樣の哀みを受けて居りまして、まあ〱今日の飢饉に迫る程の事もございませぬから、此金はお返し申します 庄「イヤ然ふ云んで取て置け 貴樣は律義な男だのふ、何も云はず乃公が角方の難題に遣すと云たら、貰はぬと理屈はあるまい 孝「ヘエー恐入ました有難う存じます 庄「乃公は東金の山城屋伊助方へ立歸つて、宿札を取外して出立致したやふにして居るから、若し代官が不當の事を申して參つたら、拙者の處へ報らして來い、直ぐに罷越して横暴を懲してやるから」と云聞せる名主始め村役人一同、花も實もある取計ひに感服を致し涙を流して禮を述べ天が孝行に報ゆるの惠みであろうと大に悦びまして、梁川を大勢で送つて東金まで參ります、町の入口で一同に別れて山城屋へ立戻りまして、宿札を取つて滯在をして居ると、拾度六日目に和泉村の名主頭同道で孝太郎が、山城屋へ參り梁川庄八に目通りを致し 孝「サテ旦那樣先達は種々と有難う存じました、就きまして今日名主樣初め皆樣を御足勞を願ひ罷出ました次第は」と何を語り出すか明日

勸業貯蓄債券賣買の好機
現物 問屋 曾野峻輔商店
京城南山町三丁目 電話一四〇九番

廣告
來廿二日午後五時花月に於て同縣人懇親會を相催候間萬障御繰合せ御出席被下度希望候也 會費金參圓也 當日御持參の事 御出席の方は不知火旅館（電話一七九番）へ御申込可被下候
熊本縣人會幹事

本院 京城櫻井町
小兒科 内科 姬野小兒科醫院
分院 南大門外
院長 醫學得業士 姬野準次

高島易斷
旭町二丁目御幸坂 大講義 山の内

朝鮮總督伯爵 寺内正毅閣下題字
東拓會社總裁男爵 宇佐川一正閣下序文
勸業模範場長農學博士 本田幸介先生校閲
元山口縣屬朝鮮農事囑托 式田清三先生著
新版發賣
朝鮮農業要覽
總クロース金文字入 六百餘頁全一冊 木版百數十個入 定價金一圓八十錢 郵稅金二十錢

朝鮮農業經營の羅針盤

朝鮮に於ける農事の經營は既に世人の刮目する所となり將來益々有望ならんとす著者は曩さに京城農林講習所並に漢城中學校農科實習園に教鞭を執り多年朝鮮半島の農業狀態を精査し現時東洋拓殖會社の農事經營主管の衝に當り天快腕を揮ひつゝあり氏は未だ朝鮮に於ける農事の經營及び農作物栽培に關する精細なる著書なきを遺憾とし茲に多年研鑽せる學理と實驗を經とせる農業の改善法と農作物の栽培方法とを

本書主目
朝鮮農事經營秘法◎朝鮮農業狀況要項摘萃△朝鮮の氣候土質と作物の關係△朝鮮農民の實情△地主と小作人の關係△農作物の改善方法△朝鮮に於ける桑樹と養蠶△朝鮮風土と園藝作△農家の副業△土地の價格農事經營上勞力の供給便否△農事經營者の現況並農業者の注意其他十數項あり◎朝鮮に於ける果樹栽培法◎病虫害驅除豫防法◎朝鮮園藝作の一覧表◎朝鮮肥料の要義◎朝鮮農作物增收法◎朝鮮畜法◎養蠶と家畜の成績◎日朝樹植物名解釋

綿密に著述せりされば朝鮮の農業狀態を遺漏なく詳說したる本書の幹邁は推して知るべし顧ふに日本内地と朝鮮との風土異れるに依ては自ら農業の事情と作物の栽培法を異にせるを以て朝鮮に於て農事經營に志あるものは本書によりて朝鮮の農作物を解し其の事業を計劃するに多大の便益を與ふべし殊に本書は文章平易に且つ插畫を多くして讀者に便せるを以て一面に於ては農事講習用の教科書として頗る適切なり

半島の農事經營者の好伴侶

發行所 朝鮮京城本町三丁目四十番戶 日韓書房 電話番號百四十五番 振替口座京城百十番

米豆 定期 現物 仲買
仁川米豆取引所仲買人 ヤ橋本彌三郎 電話一〇七番
京城明治町 ヤ橋本出張所 電話一六八二番

入院隨意夜間九時まで診療
京城支那領事館前通り
佐藤醫院
院長 前福岡醫科大學皮膚病梅毒泌尿生殖器科教室 醫員 佐藤伊藏
皮膚病 花柳病
電話一一七三番

眼科移轉診療
左の處に從前の通り診療致候
京城明治町二丁目本通り（東洋拓殖會社南側）
江頭眼科醫院

◉内務省免許
●大阪緒方產婦人科病院卒業
●日本赤十字社病院婦人科實地研究
京城本町一丁目 民團役所前
◉產婆 土居ふみ

美術 實用品各種
㊅ セトモノ
各製產地 新荷着
陶栄商店
電話百三十番 振替口座韓國三二番
官製煙草元賣捌所

東京電報

▲御歌會の讀師 內定

明年の御歌會始め讀師は本年の讀師たりし從二位伯爵萬里小路通房氏に御內定ありしやに承る

▲白瀬探檢隊の出發

久しくシドニーに滯在中なりし白瀬中尉の南極探檢隊は野村船長及び池田學士の一行本月十五日同地に到着したるに付十九日愈々極地に向ふ旨白瀬隊長より大隈伯に向け電報ありたり

▲白瀬探檢隊長電報

白瀬南極探檢隊長は愈々十九日極地に向ふ旨の電報を大隈伯に致すと同時に「我探檢隊が再び活動開始の此事を得たるは後援者の同情の篤きによる尙今後目的貫徹まで內外の後援を待つこと多ければ幸に我國民諸氏の同情を仰ぐ」云々の電報を寄せたり

▲吉林も保安會設立

在長春杉原領事發電吉林公署に於て諮議局議員民間有志者大會を開き巡撫より奉天省の例に倣ひ吉林省保安會組織の提案を爲したるが滿場一致を以て贊成したり

北京特電

▲官軍退却 內閣の狼狽

漢口に於ける官軍は援兵の來らざると糧食火藥の缺乏甚だしきため從前の陣地を固守するを得ず少しく退却せしに革命軍は機乘ずべしとなし直ちに追擊準備をなせりとの情報達し袁內閣は大に狼狽の狀あり

▲袁の對時局策

袁世凱は頃日訪客に向ひ予は立憲君主政の下に全國の平和を計り秩序を回復せん方針なり之れに對し革命黨が飽迄反抗するに於ては勢ひ討伐に力を盡さゞるべからざるも今日は出來得る限り懷柔の方針により時局を治め列國をして長く不利の地位に立しめざらん事を期せりと云々と言明し尙十八日は各國公使を訪問せり

▲海軍司令官 任命

革命軍海軍總司令官には毛中方任ぜられたり毛は英國に留學せし者にて吳淞公學堂に湖漢連絡部を設け上海武漢を連絡し革軍本營に軍器軍需品の供給其他の連絡を司どる事となれり

▲大同府附近の激戰

大原府の革命軍は娘子關にありて進まず兵を分ちて大同府に出で同所にある汪詒書の官軍と十八日激戰せり革軍二千攻勢を取りたるも汪の軍に擊退せらる汪は直ちに戰勝を上奏すると共に新任山西北部の兵五千大砲二十四門を以て大同府より正定鐵路にて進軍せば大原を回復する事難からず然れ共平定府より娘子關に向へば不利なりとの意見を齎らせり

▲宣撫使不就任

宣撫使は多く就任せず內閣大臣副大臣中にも不承諾を唱ふる者あり各省代表者は北清を除くの外來京する見込なく滿漢の反目睹鬪依然として甚だしく當地は再び不穩の狀況を呈しつゝありと

▲河南山東兩省形勢

當地に達したる報告によれば河南省は袁世凱の關係より形勢良好にして募兵行はる可きも山東省は革命熱昂進し不利なる形勢なり

▲瑞方成都に在り

瑞方は資洲より成都に到着せり

▲宣撫使と各省

清國政府は聲明して曰く曩に任命せられたる各省慰撫使は大部分承諾したるが彼等各省督撫と會同し時々議會代表者を撰定せり然れども獨立を宣言せる各省は承諾せざるべし

▲殺戮戰を戒飭す

南京官革兩軍は殺戮戰を繼續し清國政府は鐵良張勳兩將軍に電命して革命軍を殺戮すること勿れと戒飭せり

上海特電

▲官軍の不規律

漢口よりの電報に依れば漢口の官軍張彪部下の砲兵隊は長官の命を用ひず鐵道線路に沿ひ北上せり

▲大激戰の機近づく

革命軍は孝感驛に現はれ官軍は漢陽の背後に出て攻擊を加へんとせり今後大激戰起るべし

▲南京の兩軍衝突

南京大平門外に官革兩軍の衝突起れり

▲潮州府の陷落

十九日革命軍は潮州知府衙門を燒き交戰三時間に亘り知府の兵死傷多く知府は逃走して行衛不明なり

▲官兵民船を射擊

招商局碼頭に在る官兵は民船を射擊せり

▲革軍の內閣觀

清國內閣の成立は何等影響を革命軍に及ぼさず革命黨員等は袁の無謀を嘲笑し居れり

▲張謇の去就如何

農商工大臣に任ぜられたる張謇は上海に於て假政府の設置に日も尙ほ足らざる狀況なるを以て無論辭任すべし

雜報

●總督の東京着

寺內總督の一行には二十一日朝京都發同夜東京着の旨東京出張所に電報ありたり

●十一月上旬の朝鮮貿易

本月上半期に於ける輸移出入貿易は輸移出六十九萬九千十一圓輸移入二百三十八萬四千六百二十五圓合計三百七萬四千七百十六圓なりと云ふ

●京元線最近工事

京元線鐵道工事最近に於ける概況を報せんに議政府喞村里間（十七哩）の土工工事は九分六厘通り橋梁工事九分通り全區間を通じて九分二厘通成工、喞村里漣川間（九哩四分）は土工工事九分五厘橋梁工事は笠石の一部を除き總て竣工し全區間を通じて九分六厘通り成工し漣川鐵原間（十四哩九分）の土工工事は約九分通り橋梁工事三分五厘通り全區間を通じ約五分五厘通の成工を見るに至り鐵原漣川及大光里停車場構內官舍三棟議政府停車場構內官舍二棟清涼里停車場木屋及び蕃島停車場構內官舍四棟議政府停車場構內假機關車庫等何れも竣功し電線架設は鐵原平康間を了り目下龍山を去る五十八哩の龍潭迄工事用の通話をなしをれりと而して議政府漣川間の鐵道用地買收は全部終了漣川平康間又殆んど買收濟となり平康梨木亭間は土地の丈量を終了せりといふ

●動亂と國境貿易（承前）

（甲）新義州に於ける影響

（四）輸出入貨物　輸出貨物も又輸入貨物と同じく安東、貢買手控勝なる爲め相場は保合若くは漸落の狀況にありて輸出取引小頓挫の模樣あるも是亦今日の處具体的影響を見ず只影響の最も著しきは柞蠶繭の輸出とす元來柞蠶々繭は安東を經て主として芝罘に仕向けらるゝ柞蠶生糸、清國中心市場たる上海の商取引休止の結果芝罘の柞蠶市場は大打擊を蒙り延びて安東の繭相場に影響し暴亂前千顆に付一圓二十錢なりしもの忽ち九十二三錢に崩落したるも猶買手なき姿なり今秋當道產繭約一億顆は鐵路の指揮監督の下に芝罘に輸出を開始せんとする矢先き此の變動に會し大頓挫を來し居れり

（五）移出入貨物　未だ別段の影響を認めず

（乙）安東縣に於ける一般の狀況

一、金融上の影響を認むべきもの如左

（イ）日本側銀行預金及貸出は著しき增減なし

（ロ）清國各地向け爲替は大体に減少しつゝあるも日本向爲替は大差なし

清國各地向爲替減少の原因は南中清方面との取引皆無なると安奉線改修工事の段落を告げたるに由る

（ハ）一般清國人側の金融は未だ逼迫を見るに至らず

（ニ）支那側銀行にて奉天方面へ現銀を輸送しつゝある由にて日々通貨の減少を來しつゝあるものゝ如し

（ホ）東三省官銀分局及大清銀行は數日前より取付に遭ひ將に營業停止の苦境にありとの風說あるも事實は若干の取付を爲し之を正金銀行に保證預したるものゝあるのみ風說の主たる原因は上記二行が安東商務總會の協商に應じ市面の紛擾鎭靜の目的を以て市面通用紙幣に對し金額五十元以下の引替請求に應ずることゝなり其實行を開始せるにより訛傳せるものなり尤も銀行に於ても一般商民に於ても大に警戒しつゝあるは事實也

（ヘ）清人中には小洋錢を日本紙幣に交換せんと欲するもの多く正金朝鮮兩銀行安東貯蓄銀行及安東銀行に向て日貨交換を望むもの續出し安東銀行の如き小銀行に於て既に一萬五千圓以上を交換せる由但檢收及藏置の困難なる爲め目下之を謝絕する向多し（完）

●湖南線工事概況

湖南線は本月十五日大田江景間の開通を見たるが江景裡里間十七哩も殆んど土工工事を終了し剩す所は橋梁工事のみなるが是亦近々成工の筈なれば裡里迄開通を見るに至るも近かるべく群山支線十四哩八分は土工約十分通り橋梁工二分通成工し木浦方面は木浦鶴橋間二十二哩二十五鎖の全部丈量を了へ土地買收も着々進捗し鶴橋榮山浦間二十五哩七十鎖迄の丈量も終了せりといふ

●海草濫取取締計畫

朝鮮の海草海參の一ケ年の採取高は三百萬斤乃至五百萬斤にて水產事業として將來有望なるが如何せん從來保護の方法なく發生後一ケ月位の未成熟の頃之れを採取するを以て其產出も遲々たるを免れず之れを獎勵し其の發達を圖るに於ては產出高も多額に上るべく何れ當局にても之れが採取期間を定め保護獎勵の方法を設くるにいたるべしといふ

●定例長官會議

廿一日午前九時半より總督府會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監、石塚、倉富、宇佐美、小松、菊池の各長官岡本技師山形中佐出席し政務を協議し十一時散會したり

●商議總會決議

既報の如く日本人商業會議所にては廿日午後六時より總會を開きたるが重もなる議案は會頭問題（別項記載）土地家屋賣買及び典當證明に關する件並に防腐劑使用期間延期の件にて土地家屋賣買及び典當證明に關する件は過日山口書記長が當局を訪問して確め得たる意見を參考として一兩日の中に府廳に對して陳情書を差出すこと又防腐劑使用の件は其の使用の程度に於て日本と同じく之れが期間を延期し池田長次郎氏外二名の委員を擧げて當局に交涉することゝし十時散會したりといふ

●防腐劑禁令と商議

別項廿日京城商業會議所總會に於て決議したる防腐劑使用期間延期の件に就き池田長次郎氏外二名の委員及山口書記長は二十一日午前警務總監部に中野警視を訪ひ縷々陳情するところありたるに同警視は之れに對し未だ「上官の決議を經ざれば公然斷言する譯に行かざるも要するに期間延期等の內容は府令及訓令として發表する能はず唯日本と同じく檢查の方法を設けんとするの方針なり」と語りたるを以て委員等も其の意を諒とし之れが方法の決定を俟つことゝせりと

●商議會頭と議員互選

京城日本人商業會議所會頭問題は別項記載の如く二十日午後六時より開かれたる總會に於て協議したる結果現商業會議所議員三十名の內より一週間以內に選擧することゝなりたり

市原退任說に就き

日本銀行へ借入金申込

……某消息通談……

市原鮮銀總裁の退任說が過日の貴紙に見れた樣だがアノ種は一体ドコから出たのだい、ナニ實現するかドウカ知つて居るなら聞かして呉れと、ソンな事がドウして自分なぞに云ひるものか。尤も自分とて右退任說を議更耳にせぬでもない、ダカラ實現のドウのと云ふ事は別にして自分の圖込んだかけを御參考迄に話サウ。一体市原君の今の位地ほど困難なものはない、總督の云ふ事も聞かなければならぬが、大藏省の命令にも服さねばならぬ、ツマリ御主人を二人持つて居る譯だ、トコロで同君昨年來の遣口はドウカと云ふに、何しろ桂さんが藏相兼任と云ふ譯であつたから、一にも二にも寺內さんの云ふ事を聞いてさへ居れば良かつたのだ、ソコでドウ云ふ始末になつたかと云ふと、寺內さんの云ふ事を聞いた結果は例の總督府へ貸上げ金及び恩賜公債の買入等其他で鮮銀の正貨準備を悉く空くして仕舞つた、尤も貸上げ金と云ひ恩賜公債の買入と云ひ鮮銀券でやつたので、日本銀行券で出した譯ではないが、何しろ通貨の膨脹が促がした移輸入超過の其決濟の爲に鮮銀の正貨準備は悉く出て仕舞つた。ソコで先月の始め鮮銀から日本銀行へ正貨準備に要する資金の借入を申込んだ、桂さんが藏相の時代ならオイソレと承諾するのであるが、今は整理主義の山本さんが藏相なのだから直ちに承諾どころか、一問題になつた。山本藏相で見ると、折角日銀の限外發行を減縮しても、亦た前內閣の浪費主義を改めるにしても朝鮮の方から破れて來てはダメだから此際整理序に朝鮮の方をも整理すると云ふ考を起した、ソコで鮮銀に對しては其申込を一言にして蹴付けて仕舞つた。此措置に就ては寺內總督も不滿に思はれた樣だがドウも仕方がない、ソコで種々思案もして見たが一向良い思付きがないから、總督は藏相へ直談判と決し、今や將さに其直談判の最中であつて上京中の市原君は藏相對總督の談判が旨まく行くかドーカを觀望して居る譯だ、尤も荒井度支部長官が上京して詳細の說明をせぬ中は山本藏相の考は決しまい、マアソウ云ふ譯で日銀が鮮銀の借入申込を受付けるかドウカは荒井君の上京後ならでは判らぬ。ソコで市原君の退任云々に付てはドーかと云ふに、成程市原君が先年觸原君なぞの尻馬に乘つて時の日銀總裁たりし今の藏相山本氏に同盟反抗をしたてとのあることは事實だ、ダガ山本とてもあらう人がソレしきの事で渺たる市原君を復讐的に首にする樣な事は萬々あるまいと思ふ、尤も不幸にして市原君が實際ヤメル事になると云ふのならソレは山本氏個人の關係からではなくて鮮銀總裁として寺內總督の財政手段を盲從せしむるには市原君よりはモツト財政の智識のある意志の鞏固な人を要すると云ふ藏相の考からだらうと思ふ、尤も市原君も山本氏が藏相として發表された時にコンな時世になつては早晚透出さずばなるまいなどゝ串戯を云つたこともあるが、之はホンの串戯に過ぎないと思ふ云々。

佐々木代議士の談

……支那動亂に對する觀測……

今回は黨の派遣員として北京に向ひ當分同地に滯在して時局の遷轉を觀望せんとするものなるが時局の推移は那邊に停止するかは今遽かに明言するの限りに非ざるも革軍の氣勢今日の如くでは結局黃河又は長江を界として南北二に別るゝに至るべく滿朝は立憲君主國として革命軍は共和政体として茲に一先兌を告ぐるに非ざる乎尤も日本の爲めよりするも斯くあるは好都合にして之に依て得る所のものは多大なり之に反し一朝革命軍にして支那四百余州を統一するが如きまでもあらんか我當局は政策上は勿論東洋平和の爲めにも茲に復雜なる問題を惹起するに至るべく寧ろ二國に分立するは吾輩の冀ふ所にして亦斯くあらざるべからず自体清廷今回の對革命軍の政策は其根本に誤りあり漢人を討つに漢人を以てするが如き同胞をして相食ましむるに至つては清朝今回の末路に當つて一人の大器なく洵に怒むに堪へたりと雖も之は滿人をして憤起せしむる上よりするも滿人をして討たしめざる可らず初め革軍に有つても戰局今日の如き好果を得べしとは期せざりしならんに既に今日の形勢となりては何時終局を告ぐるや明ならず云々

●學務主任會議續開

廿一日學務主任會議の第二日は午前九時より開會せしが宇佐美長官及關屋學務局長以下學務局員の重なるもの臨席し學務に關する打合せあり午後には小原地方局長より地方行政に對し訓示あり午後五時頃散會す

●電燈料値下と將來

既報の如く日韓瓦斯電氣會社昨今の電燈需要數は二萬餘燈あり愈々十二月一日より値下實行の曉にいたらば燈火數益々增加すべく從つて電燈事業の擴大を來すべきは勿論なるが聞くところに依れば同社にては今後地方には手を延さず專ら主力を京城に注ぎ將來市區改正道路擴張等につれ營業の擴張を期すべく從つて三四年の後には必ず資本金を增加するにいたるべしとのことなり

●全道の郵便局と增設

朝鮮全道に於ける郵便局の數は大小凡てを合せ五百〇三個所にして一郡平均一個所と七強に當り居るが尙不足を告ぐるより來年度に於ては豫算の許す限り增設すべしといふ

●朝鮮煙草會社總會議

朝鮮煙草會社にては二十日東京に於て創立總會を開き開業準備に就き種々の事項を協議したる由

●鮮人漁業者組合加入

併合以來鮮人の漁業者にして釜山朝鮮海水產組合に加入するもの多く中には數百名一團となりて加入方を申込むものある由なるが這は要するに斯業の有利なると組合の効力を認むるにいたりしが爲めなるべしと

●佐々木代議士の北行

二十日入京巴城館に投宿したる代議士佐々木安五郎氏は廿一日夜の直通列車にて滿洲に向ふ

●馬支那總領事の歸任

仁川居留民情勢並に商況視察の爲め出張中なりし當地駐在清國總領事馬廷亮氏は二十日歸任したり

●荒井度支部長官出發

既記の如く荒井度支部長官には二十一日午前九時南大門驛發東上したり

●スター博士の出發

朝鮮各地視察中なりしスター博士は二十一日午前南大門發釜山へ向ふ

●土地調查局員の出張

土地調查局佐々木課長は慶州方面に土屋課長は黃海道方面に和田課長は慶北方面に各々出張中なるが和田氏は廿日歸任せりと云ふ

●境警視の歸京

九州に於ける大演習地へ出張中なりし警務總監部の境警視は十九日歸京したり

●太田電氣と支店

京城太田及び湖岡の有志を以て設立されたる太田電氣會社は諸般の準備成りたるを以て來月中旬より開業すべく今日のところ既に八百燈の申込あり來年にいたれば優に千五百燈以上に達すべくされば相當配當を爲し得るにいたるべしといふ同會社は鳥致院に支店を設け電燈事業を營むべく目下其の筋に出願中なりといふ

公人私人

▲佐々木安五郎（代議士）廿日巴城館ホテルへ
▲加藤與之吉（南滿鐵道會社技師）廿日巴城館ホテルへ
▲柏澤倉吉（技師）廿日不知火旅館へ
▲中村再造（民團議員）十九日歸京

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
十一月廿一日	三四五、六三〇、九二〇	七[illegible]

▲茶袋▼

京城に於ける在留支那人は約一千五百名あるソウな、ところで此の一千五百名の中清國の新聞紙を購讀して居るものはタッタ十人位だとの事▲併し這回の動亂に就てイクラ購讀者が殖えさうなものゝやうに思はれるが一向ソンな傾向はない樣子だソレは何ういふ原因かと聞くと商人多くは成り上りもの其の他は勞働者りだからだといふ▲ナニ一般の在留清人は至つて平穩で平素と變りはないソレが嘘ならソコラの支那人に動亂に就ての觀想を聞いて見玉へ、恐らく物も答ふるところはないだらうと京城の或る支那通は語られたが之も當てにはならぬ▲東拓では現在の重役の住宅が狹隘であるから高率不[illegible]だとの口實の下に明四十五年度から[illegible]ケ年の繼續事業として重役社宅の[illegible]をするとの計畫があるさうな▲ソ[illegible]總裁の社宅に七萬五千圓各重役の[illegible]に二萬五千圓宛の建築費を投ずる[illegible]見だそうな、莫大の俸給をもらひ[illegible]らマダ遣瘦虫の宜い事を思つてを[illegible]はウヌ〳〵、株主とてソウ〳〵[illegible]にされるものではないよ。

제825호 1911. 11. 22.



●續五藝妓涙の内情

(十一)　▽人面獸心の堀内實

猶は堀内實歸京後の言動として聞捨てならぬ一節を耳にせり元は金奴等の師匠たりし人にて目下日の出町に居住せる林某が曾て本件に關し金奴等と堀内との間に仲裁を試みしことあるより堀内は十九日午後同人宅を訪ひ此度の新聞記事は何人かの教唆に依り金奴金子の兩人共謀して材料を供給したるに相違なければ新聞編輯人及探訪員を告訴すると同時に**金奴金子の兩人も共に監獄に打ち込んで**遣る貴許の弟子は馬鹿だから懲役に行きます付ては今村南部警察署長に電話を掛け金子、金奴兩人の罪の輕くなる樣頼んで遣るから林さん名前にて電話を掛けて與れと云ふより林は金子、金奴兩人の爲めと堀内の指揮通り今村署長を電話口に呼びたるも元來林は何の用事も無きに堀内に代つて與れと云ひしも堀内とて今村署長に對しては何と云ふ用事も無ければ電話に掛り得ずして鐵電話を斷り林に向ひては金奴、金子に告訴する旨を云ひ聞かせて置いて與れとて立去りたるに林は金子、金奴兩人を呼び寄せ堀内の言ひしが儘を云ひ聞かせしに寢耳に水の驚きにて跳ね上つて恐ろしがり夜の目も眠らで心配し居れるが堀内の不埒は云はずもあれ憐れなるは兩人なり、而して堀内は**告訴代人を辰市辯護士に依頼したりと聲明し居**るも同氏の如き名士が風敎保持の立場よりせる本記事に對して論難するを諾したりとは信ずべからず兎に角話は路に戻つて堀内の養女分の一人金一彼れは最初記したる如く百五十圓にて十年間の年期養女として貰らはれ居るものなるが悖德不倫なる堀内は未だ齒堅き十三歳の抵抗力なき**金一**を本年八月中**妻くにの不在中寢室に呼寄せ**按摩代理を命じたる揚句怪しかる行爲に出しより金一が『お父さん嫌ですよ』と揚げし悲鳴を聞きつけ養女のとう(二七)及金子、金奴等は何事ならんと駈着けしに前記の始末に一同開いた口が閉がらず呆れ果てゝ泣き入る金一を慰め賺して引取りしが此事あつて以來堀内は金一に對して辛く當るにぞ彼れは南部署に保護願出たる事あり、元來堀内の當地に入込しは**料理屋を開業する目的**にて當地に於て三好和三郎氏と契約を結び和樂園に地を相して家屋新築に着手し一方營業許可願を南部署に提出せしに南部署にて其の身元を奉天及天津に照會したる結果既報の一搏判明し爲めに營業不許可と決定するや當地の紳士紳商を籠絡して**今村署長に運動**せしめたるも**斷乎**として**斥**けられしに然らばとて和樂園なる名儀にて温泉倶樂部として願出でたるも此又不許可と決し更らに藝妓置屋として願出たるも又不許可の指令を與へたり然れば當時此事に關し奔走したる某々等は今村署長の餘りに頑固なる所置を非難し居たるが本紙の記事出るに及びて初めて成程と首肯き合へりとぞ(つゞく)

●京畿道廳會計主任と語る

△官金費消事件に就て

京畿道廳に於て贓物品購買代金其他の支拂不始末にて商人等が迷惑一方ならぬ云々の投書屢々ありしを以て事實の眞想精探中詐欺取財横領前科犯人東京市小石川區小日向武島町生れ奥村千里(三二)なる者が同廳會計係(雇員)として採用せられ勤務中官金千三百餘圓を遊興費に浪費し遂に南部警察署に捕れ取調の結果奥村の自白に因り證據充分として檢事局に送られたるが被害者たる京畿道廳に於ては紛失の事實が檢擧に至る迄判明せざりしとぞ當該監督官の無責任言語の外に絶す記者は本紙の記事に對し會計係り主任が如何なる辯明を爲すか及奥村を採用せし動機を聞く可く二十日午後三時京畿道廳會計課に訪問せしに朝鮮總督府書記兒玉秀一郎なる人謁見せり會計主任は貴許なりやとの記者の問に對し私しが兒玉と申し主任ですが實は貴京城新報の御厄介になり恥入つた次第ですと答ふ記者は該記事に付何か辯明はありませんかと問ふ兒玉氏は何とも辯明の點なしと答ふ然らば金庫の鍵は一雇員たる奥村に與へありしかと問ひし　鍵は持せし事なし　答ふ然らば前科犯人なる事は御承知なかりしか又採用の動機は如何と問ひしに實は去る八月中旬人員不足の際私の友人某より此者を採用　呉れど頼まれしより直ちに採用し給料に使役し居たるも事務多忙の爲め出納掛り增員の事務を補助せしめ居りしが監督不行屆からして斯る事件が出來せしものですとあり記者は重ねて**如何なる種類の金が紛失**せしやとの問に對し兒玉氏は**今日迄調査未了**にて何とも返答が出來ませんと記者曰く實は豫てより京畿道廳會計係の支拂不始末云々の投書數通來り居るのみならず當局にて其風評を耳にしたので事實の眞想を精探中總督府會計局員と稱する者の來遊しつゝあるを探知し內探中遂に奥村千里の事件が發生したので京畿道廳の支拂不始末は事實なりと私共は觀察して居ますが御辯明の餘地ありや兒玉氏曰く御觀察は御尤もなるも**僅か金一千三百餘圓位の紛失**の爲めに支拂不始末抔はありません農工銀行の金庫に何萬圓でもありますから然し御注告は有難く受けました可成事務を敏速に致す樣一同に注意します云々と、以上は兒玉氏と記者との問答の梗概なるが犯人逮捕されたる後も猶且つ何の種類の金が紛失し居るや事實調査出來て居らずとは不都合ならずや又兒玉氏は紛失金一千三百餘圓を僅かな金と云ふも其僅かとは何から割出した僅かなりや少し位紛失しても農工銀行には何萬圓もあるからとの量見にて事務を取らば大間違なり當該監督官たる檜垣道長官たるもの一考を促す(一記者)

●靜江は人身御供

▽玉屋席榮次の辣腕

其時迄もい京は靜江に限つて不見明は致させませんと啖呵吐いて居たことゝて斯る不始末ありし上は他人に會はせる顏もなければ今日限り藝妓と姉妹の緣を斷らんと口惜さに寢もやらず靜江の歸りを待ち受けたり然るに一方榮次は斯くとい京に告ぐると共に直ぐ其足にて藝妓家に至り情夫の堀田に向ひ奥村の馬鹿が遂々警察に拘引されましたよ取るものは取つて終つたから先づは安心ですよと語り又翌朝自宅にて明治町の旦那にも自分が聘ばれた方が拘引せられしも靜江に罪は背負はしてあるから決して御心配には及ばぬなど手柄顏に吹聽し十七日夕刻よりは旭町一**丁目の出湯の二階**にて**祝宴**を開き堀田と共に京城券の新妓梅奴、巴枝の二人を呼び一時過ぎまでも祝盃を揚げたるなりき扨一方靜江は十七日午前二時過榮次か素破拔きたりとは知らねど流石に逛持つ足の悄然として歸り來りい京の前に手を突いて『姉さん只今』と挨拶せり此が平常なら『お歸りなさい御苦勞だつたね、今晩のお客樣は何誰……アラ左樣、早くお休み、明日が早いから』と優しい言葉も掛けるい京が何夜に限り人並勝れて大きな眼玉をギヨロ／＼させる斗りで『ウン』とも『スン』とも挨拶せぬに靜江は興醒見したりと覺るや『姐さん濟みません』とワツと斗りに泣き出したるを冷かに見下したるい京は靜江に向ひ何も泣く譯はありますまい私の樣な甲斐性無しの妹藝妓として居ては靜江さんの御損だよ、併しね能く／＼私を欺してて馬鹿にしたね、私や皆なに合はせる顏が無いから今日限り**姉妹の緣を切**るから獨り立で行けなりや榮次さんの妹にでもお成んなさい』と宣告して玉家の主人にも通じたるが花柳界にて姉妹の緣を切られたと成るは大問題とて靜江とも／＼詫び入りたるも頑として聽せざりしに新聞記事に依りて斯くと知りたる同席の仇吉が打捨て置かれずと十八日午後一時頃同席の藝妓一同集まつて貰ひ榮次、靜江の兩人より逐一事情を打ち明けさせ扨一同よりも口を添ねての仲裁にい京も我を折り再び斯ることを致すまじく／＼と辨出度し／＼、皆さん一つお手を拜借(終)

●私が只今殺されます

▽剛率者と手紙と短刀

原籍大阪市西區立賣堀南町二十五番地當時京城南大門通器械商中根源藏(三九)は元仁川にて營業中より濱町二丁目九十三番地九三運送組仲仕今村荒太郎とは餘程親密なる間柄なりしに見へ昨年來荒太郎の妹みつ(三三)が奉公口を探し居たるを自宅に引取り何かと手傳はし居る內みつの美貌に懸想し遂に情を通じ居たるが本月一日源藏は商用を帶び上阪し越へて同十日歸城したるにみつの素振り一變し居るより間隙なくみつの素行を注視し居たる處元源藏方の二階に下宿し居たる京城郵便局員古谷勇吉(二六)とも怪しき交情となり居るを認めて一夜勇吉を自宅に招き詰責する處ありしかば勇吉は遂に包みきれず自白に及びしに源藏は大に怒りみつの顏面を短刀にて切斷せんとし手元狂ひてみつの顏面に大傷を負はしめたればみつは血塗れになり悲鳴を上げ泣叫び居たる最中源藏の知人仁川濱町二丁目東生の銘吉が入來り右の騷ぎを取押へみつは直ちに附近の醫院に入院せしめ手當を施したるが右の騷ぎを其筋に密告する者あり源藏は直ちに引致され一夜拘留をうけ放還されたれば即日前記の銘吉と共に仁川に至り荒太郎を訪ひしに當時荒太郎は病氣臥床中なりしが源藏は自己の不行跡は棚に上げみつ、開行を數々述立てたるに激し荒太郎は京城の知人より源藏及勇吉對みつの關係等委細通知を受け居りしことゝて嚇となり左程みつを惡口するからには此方にも汝に見せる物があると荒太郎ムックと起上り机の抽斗を引明け何やら取出さんとせしかば源藏は驚き二階より足袋跣足にて逃出し某家に飛込み今自分を斬殺さんとする者ありて追駈け來るより救助を求むと息も絕々に叫びたるにぞ同家にても面喰ひ何事ならんと段々取調べて見ると前記荒太郎が京城の知人よりの來信書を源藏に見せやらんとせしを源藏が慌てゝ短刀を見たのと判明して笑つて事濟み

●圖々しき食道樂主

▽臺灣の事を秘し隱す

當地壽町の料理店食道樂の不始末に對し我社は去る十八日の紙上に『食道樂の整理難』と題し報道したる所の如し然るに同店主人田村總太郎は本紙の記事中臺灣に於て云々の文を非認し虛妄の文字とすし自分は臺灣に於ては煉瓦事業の外に他事業を經營したることなく憚り乍ら一文たりとも他人に迷惑を掛けたることなしと吹聽するのみか此を新聞に廣告して本紙の記事を全然打消さんと企てつゝあるも如何せん事實は彼れが**臺灣臺南**に於て**料理屋兼業の御影温泉**なるものを**經營**したることを語れるを如何而して此隱す必要なき事實を秘し匿し煉瓦事業以外の事業を經營せずと云ふは深き仔細あるが爲めならずや實に圖々しき虫の善さ加減差し話しにもならず因に新町遊廓能鶴樓も同人の手にて經營中なりしが遂ひて不始末を生じ居れば近々他に引繼がるべしと

●殺人犯人の公判　原籍奈良縣北葛城郡瀧南村宇古寺三六當時仁川花房町二西井方同居工夫和田鹿藏(三六)が十一月八日午後七時頃仁川税關構內路上に於て東京市京橋區越前堀清水陸造を洋刀を以て殺害したる事件は曩來京城地方裁判所仁川支部四位豫審判事代理の手にて取調べ中なりしが十九日豫審終決不日公判に附せらるゝ筈

●京城樓の新妓輸入　新町遊廓京城樓にては樓主は去月中旬より美形輸入の爲め東上中なりしが今般抱へ來りし美形は東京市淺草區象久町生れ小倉きぬ(十九)は小梅と群馬縣碓氷郡八幡町生れ齊木よし(二二)は小光と東京市神田區岩本町生れ仁平せん(十九)は小千代と東京府葛飾郡龜井戸町生れ新井はる(二二)は小奴と名乘り二十一日夜より何れも今晩はと現れ而して小奴は是迄東京芳町の花本屋にて小稲と名乘り小千代は井筒屋にて桃代と名乘り左褄取つて居たるものなりと

●日高貞夫の公判　鹿兒島縣薩摩郡西水引村當時本町一丁目代書業日高貞夫(二七)が新町遊廓井門支店の元常抱藝妓佐々木かほる(二三)を落籍する爲め犯したる私書僞造行使詐欺取財事件は豫審終決し來る二十四日午前十時より京城地方裁判所に於て塚原裁判長の係りにて檢事立會の下に公判開廷せらる可く被告辯護人として辯護士木尾虎之助氏出廷す可しと

●賭博行に京城迄　福島縣田村郡中郷村大字蛇澤當時住所不定新田丑吉(三一)は東京市日本橋區小傳馬町賽物業前田三吉方に雇はれ中十月二日主人の命に因り四十五圓の銀行小切手受取りに行き該金を横領し當地にて捕はれし事件は京城地方裁判所に於て懲役四月に處せらる

●子を持つ親に注意　原籍福井縣吉田郡中藤島村當時龍山鐵道官舍八十六號ノ六黑川徒(三)長男正利(三)は家人が平壤へ行きたる留守中二十日午前十一時半自宅裏にて實姉利子(四)と遊戯し居りたる際誤て近傍の溝中に陥り溺死したり危險／＼

●逃走犯人の逮捕　南大門通り三丁目伊藤方三重縣人西村善五郎(三九)は和歌山地方裁判所檢事局より文書僞造行使詐欺取財犯被告事件の令狀を所轄警察署に廻されしを聞き直ちに逃走し潛伏中なる事を南部署岸佐藤の兩刑事に探知され引致せられたり

●金原商會の開業　黄金町高等演藝館の外廓に營業所を新築したる金原商會は東京鶴淵幻燈舖の代理店を引受け幻燈器及附屬器械の販賣をなし別に殖林部を設け印度邏羅地方にて得たる經驗を以て大々的施設を試みる由

●醉つて件の失態　鹿兒島縣出水郡米ノ津村當時總督府中學校新築校舍建築請負古川組の土工樋口梅吉(三二)は二十日午前泥醉して交通を妨害し一夜留置され醉ひの醒めた後大眼玉を食つて引退る

●無分別なる醉漢　明治町三丁目居住石工職山中松次郎金田文二郎の兩名は泥醉して本町五丁目街路に於て通行人に暴行を加へんとして南部署に突出され說諭放免

●演藝だより

▲雲柳の讀物　廿一日より壽座に於て開演したる桃中軒雲柳二十二日の讀物は下の如くなるがモタレの花園擊は「伊藤公爵の洋行」「大學生怪憲」この長講二席なるが雲柳讀物の荒筋は前席出世相撲稻川東下りなるが本講演は十八番の讀物にして勇ある稻川と伊勢の海との取組傳記を活劇的に講演致すものにて雲柳得意の讀物なり後席は▲倉藤傳助の傳にして大和流弓術の師範の息と生れしが鍛冶職となり[illegible]の恥を雪がん爲め發憤して乳母の許を訪ひ床屋となりて數年を過し後淺野家へ足輕に抱へられ或日弓術を以て知られ抽んでられ士分になるの日床上の千羽鶴の軸を見て親子の情に泣き赤穗侯により五ケ年目に千家の聞を越ゆる立志の一篇

◎浪花節　三遊亭若遊三一行大車輪の勉强に好人氣大入を續けつゝあり二十二日の若遊三の大師詣は聞き物なり

▲御成座　浪花節新派演劇にして藝題は『江戸侍房五郎』なりと

廣告

▲支店設置廣告▼
京城府內の土地又は家屋に對し一時低利御融通申上候
◎多田不動產信託所は
土地家屋賣買と其金融に並受託貸家管理
既設電話賣買讓與
質屋營業は制令の金利により便宜御貸出し可仕候
京城太平町一丁目　電話三二一番
多田不動產信託所
同質屋業　多田次平

▲支店設置廣告▼
同支店渡邊拾吉
同相生町南大門通り京城寫眞館裏
當所の質貸南大門外約五千坪押制貸の上月賦建築可仕候

鑄物細工、燒印調製
鍋釜鑄掛、錠前直し
仁川宮町三丁目八番地の廿四
內田元太郎

浪花節若手名士吉田奈良男開演
仁川於歌舞伎座
三日目演題
一金子春太郎　吉田奈良義
一竹田八劍士　吉田彌響春
一傳ノ桃中軒天一
一大和櫻義士の面影
源藏徳利の別れ　長講二席
一休悟道錄　廣澤月に
一日本三馬術曲垣平九郎
二ツ巴　赤垣
◎場代　壹等七拾錢　二等五拾錢　三等三拾錢　小供拾錢

靈子治療
〔催眠術にあらず、施術時間午前八時より午後二時まで〕
新發見『靈子作用』は東京及各地新聞に掲載され今や學界の大問題ならんとす、而して之が施術によりて治癒せる難病者全國を通じて非常の多數、今回當地に支部を設置し十一月廿二日より向ふ三週間會長自身直接施術に從事す藥品器械を用ゐず諸病に効驗あり。
京城明治町二丁目耶蘇教會堂前
東京靈理學會京城支部
東京靈理學會長　田中守平

開店三週年紀念大賣出し
賣出期間十一月廿日より卅日まで
四方各位の格別なる御引立にて本年は開店滿三週年の祭慶を迎申候段厚御禮申上候其禮旁々此際充分安價に勉强致特に紀念の爲め添物差上申候間御多用御繰合せ御光來御用命の程偏に奉希上候
●大見切反物及釣切等種々取揃居候
京城本町六丁目
㊄　橋詰吳服店　電話一八〇一番
追て右は福引にて景品進呈致す樣廣告配付仕候處都合により前記の通り變更仕候

紀州みかん
食料品薄利多賣
▲隔日着荷　多數御注文に可應候
京城南大門通朝鮮銀行前角
川西商店　電話一三六七番　振替　京城一番

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製洋服卸小賣 官衙御用達

京城本町三丁目

大阪野村商店代理店

田中友吉商店 電話九九三

たんをきりさせをさめ ぜんそくを根治す

氣候激變の爲め引風よりたんせきを起す人多し輕症なりとて放任すれば肺炎、肋膜炎等に變症し終に重症となるものなれば輕易のうちに治療こそ肝要であります

龍角散は服用後、暫時にしてたんは能く切れる せきは奇妙に止るいき切は鎭まる其他數年困難したる慢性症も怠らず服用すれば氣分は何となく爽快となり病惱は日々に輕減し終に根治す此れ全く本劑が他藥に卓越する特色であります

龍角散が如斯く效せき喘息に偉大なる効顯あるは偏に某醫官が多年刻苦御經驗の賜ものなればあの藥この藥と御迷なく一日も早く本劑を服用ありて其病苦を根治し給へ

登錄商標

龍角散

主治効能

●たんにて常にゴホンゴホンと惱むによろし

●ぜんそくにてゼイゼイいき切するによろし

●夜中せき頻に出でワチワチ眠り兼るによろし

●流行感冒より起るたんせきによろし

●肺病にて常に力なきせき出るによろし

●たん臭氣を帶び時々血の交るによろし

●小兒百日せき又はしかせきによろし

●音聲のかれ咽喉の痛み

二日分 金十錢 郵一錢
四日半分 金三十錢 郵二錢
一週間分 金五十錢 郵二錢
二週間分 金九十錢 郵三錢
一ケ月分 金一圓 郵四錢

ば其效力、速かに顯はる

東京市神田區豊島町

取次…全國各藥店にあり

藥劑師 藤井得三郎

京城南大門通三丁目 振替東京九一番

井 堂 藥 房

清酒値上廣告

内地相場益騰貴ノ爲メ本月貳拾日ヨリ左記之通値上仕候間何卒不相變御用命之程奉希上候

一大樽各種壹樽に付 金壹圓
一半樽同 上 金五拾錢

明治四十四年十一月

京城酒商組合

祝御大禮 京城縣（大）

繁榮會御指定 幟提灯申込所

今般繁榮會の御指定に依り十二月一日より御執行に相成候大賣出し既定の幟及軒提灯は弊店等に於て引受け申候就ては準備の都合有之候間大至急御用命の程偏に希上候

申込所

京城本町五丁目 電話一九八五番 龜屋染工場

京城明治町一丁目 傘提灯商 大嶋商店 電話一六三五番

開業滿一週年紀念 玉突競技大會

四方愛球家各位ノ甚大ナル御援助ニヨリ追日業務ノ隆昌ヲ致シタル吾日の出倶樂部ハ今ヤ開業滿一週年ニ達シタルヲ機トシテ聊自祝ノ意ヲ表シ茲ニ紀念競技大會開催セントス願ハクバ盛ニ來リ會セラレ積日練磨ノ快技ヲ揮ヒ以テ弊部ノ微志ヲ成サシメラレンコトヲ

會日 來ル十一月二十五日（土曜）二十六日（日曜）二十七日（月曜）三日間

一會費金壹圓五拾錢 改元五拾錢

京城明治町一丁目

日の出倶樂部

文房具 和洋紙 度量衡器

日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所

シノサキ本店

京城本町一丁目 電話七百五番

シーボムアンドデイキンスタル鋼會社特約販賣

鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角鋼
職工用 同 鑢各種

右は朝鮮一手販賣權在候處清鮮地ニ材料器具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

京城本町五丁目

和洋金物商 釘本藤次郎本店

最上醬油

（高）

釀造元

仁川港萬石町

高杉醬油釀造場

電話七六五番

改良特製珍品 鮭の筋子

新荒卷鮭 鱒、紅鮭 數の子

◎右原產地より多數輸入廉價に販賣仕候間多少に不拘御用命の程奉希上候

京城南大門内米倉町市場

食料品卸賣 海產物貿易商 丁 池尻林太郎

電話三五一番 振替口座京城八六番

資本金五百萬圓

東京建物株式會社派出所

本店東京市日本橋區吳服町

一土地建物抵當貸附
一月賦償却建物建築

京城旭町二丁目 電話一一六八番

營業品目

一苗木、農器具、肥料
一各種蠶種

朝鮮勸農株式會社

京城旭町二丁目 電話三六八番

資本金 壹千萬圓
積立金 六百貳拾萬圓

明治六年設立

株式會社 第一銀行京城支店

京城南山町三丁目

電話一一番 振替貯金口座京城一二番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

新荷着

厚物 薄物 鐵板各種
浪板 平板 各種 亜用線

和洋金物商

京城本町貳丁目

佐野彦藏商店

電話一六三番 振替口座京城一二〇番

木綿、太物
メリヤス
綿、文房具
紙、帳簿類
干物食料品
鑵詰、荒物
金物、洋傘
日鮮人向雜貨

帝國化粧品研究所 明月あらい粉代理店

朝鮮仁川港

卸商 (コ) 小林倉二郎商店

電話三六六番 振替口座京城一九九番

喜谷 實母散

東京中橋 本家 喜谷市郎右衛門

朝鮮代理店

京城南大門通三丁目 新井藥房

齒科診療

京城南山町二丁目（天眞樓隣）（寫眞館隣）

齒科醫 檜崎東陽

電話千三百六十番

世界一のかぜ藥

全國藥店にあり

ねつはやりかぜづつうりうまちすに大効あり

蛇印 アンチピリン丸

藥價 五戔・十戔・十五戔・廿五戔

發賣本舗 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
東京本橋區通油町 丹平商會

代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

元祖 食パン

菓子パンアンパン各種

總督府各官衙御用
陸軍御用

製造卸小賣商

京城本町三丁目 相川兄弟商會（電話一八九番）

釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店（電話二七六番）

齒科 治療

本町六丁目（數そば横町）

ドクトル 中村安子

女子見習募集委細面談

（電話一五八三）

★株式會社 百三十銀行 京城支店

電話百九十番 振替貯金口座 一五八番 一二三番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影

東海道 東京、横濱、大阪、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、鶴山

東山道 彦根、大津、八幡、岐阜、大垣、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙台、北方、加納

北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡

山陰道 米子、境、松江、久手、太田、倉吉、姬路、龍野、網干、岩見、西大寺

山陽道 岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、柄、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、長府、小月、下之關、明石、津山、阿知須

南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豊濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養

西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎

北海道 小樽、函館、札幌、旭川

臺灣 臺北、臺南、

樺太 太泊、

朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、木浦、群山、羅州、光州、馬山、大邱、全州、城津、清州、大田、公州、水原、開城、安東縣、大連、營口、奉天、旅順

清國

一般の業務精々便利取扱可申候

最上醬油

特約販賣

京城 仁川

髙雄支店

最も滋養に富む……

◎ウヰンカーニス

一名肉エキス葡萄酒

京城本町三丁目

朝鮮一手販賣 龜屋

電話二十七番 四八七五番

十一月中 滊船出帆廣告

（キ）

武敷丸 德島行 十一月 日前 時
天草丸 薩州行 十一月 日前 時
三省丸 屯串行 十一月 日前 時
安東丸 海州行 十一月 日前 時
三省丸 大湖芝行 十一月 日前 時

仁川本町四丁目 電話一七三番 七一〇

合資會社 秋田商會船舶部